

デリバティブ取引の 当初証拠金

2014年2月27日(木)

OTC クオンツスクール

キーワード：当初証拠金、変動証拠金、Current exposure, Potential future exposure, 証拠金規制、証拠金規制最終案、SIMM、保有期間、片側信頼区間、中央清算機関 (CCP)、JSCC、LCH、CCP で清算されない取引、SCSA、ヘアーカット、適格担保、当初証拠金を考慮したデリバティブ・プライシング

現状、相対で取引されるデリバティブ取引(non-centrally cleared derivatives)に当初証拠金はありますが、CCP で決済されるスワップ等の標準化された取引と整合的に、相対で取引されるデリバティブ取引に2015年から1月から当初証拠金が課されることが決まっています。ISDA が昨年(2014)の12月に標準当初証拠金モデル(SIMM)の基本的な要件をまとめたペーパーを発表しました。この証拠金規制により、各金融機関が相対デリバティブ取引の証拠金計算モデルを持つ必要がでてきました。さらに、当初証拠金を織り込んだプライシングシステムや担保の最適化戦略の構築も急務な課題となってきています。

今回の1日セミナーでは、CCPでの証拠金、CCPで清算されない取引の証拠金規制、当初証拠金計算モデルや当初証拠金を織り込んだデリバティブのプライシングに関して講義をします。

概要

金融危機を経て、デリバティブ・マーケットは大きく変貌を遂げました。さらに、2015年12月から段階的に始まる相対デリバティブの当初証拠金規制はデリバティブマーケットの慣行を大きく変えると思われます。今回のセミナーでは、

- 当初証拠金と変動証拠金の役割
- CCPでの当初証拠金計算ロジック(JSCCとLCH)
- 相対デリバティブの当初証拠金規制
- ISDAでの当初証拠金標準計算モデル(SIMM)
- 担保のヘアーカットの計算
- 変動証拠金を考慮したデリバティブのプライシング
- 当初証拠金を考慮したデリバティブのプライシング
- 当初証拠金とDVA(Debt value adjustment)
- 当初証拠金とFVA(Funding value adjustment)

などを学びます。

セミナー対象者

- ・ 金融機関におけるクオンツ、トレーダー
- ・ 金融機関のデリバティブ、ALM、リスク管理等の関係部署の方
- ・ 監査法人でデリバティブ業務等の監査に携わる方、金融商品の評価業務に携わる方
- ・ デリバティブ、金融リスク関係のシステム構築に携わる方

講義日程

日付：2014年2月27日（木）

時間：18:00 – 21:00

会場：JAビル カンファレンス 401B

定員：25名（申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます）

担当講師

高田勝己（株式会社 Diva Investments 代表取締役）

平成元年、一橋大学経済学部卒業。日本債券信用銀行 資金証券部 調査役、さくら銀行 商品開発部 上席調査役、コムルツ証券会社 債券部トレーディングデスク ディレクター、ペアースターズ・ジャパン 債券部 マネジングディレクター、RBC(Royal Bank of Canada)キャピタルマーケット・ジャパン ディレクターを経て、現在、株式会社 Diva Investments にて金融デリバティブモデルにかかるコンサルティングに従事するかたわら東京大学大学院経済学研究科で非常勤講師を勤める。

シカゴ大学 MBA Analytic Finance 専攻。東京大学大学院 数理科学 後期博士課程修了。

受講料

40,000円（税込）

学生割引：フルタイムの学生は50%の受講料で受講できます。ただし、申込みの優先順位は後回しになります。

お申込み

OTC クオンツスクールのホームページ <http://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

講義内容

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| ① 当初証拠金と変動証拠金 | ⑥ 変動証拠金を考慮したデリバティブのプライシング |
| ② 相対デリバティブの当初証拠金規制 | ⑦ 当初証拠金を考慮したデリバティブのプライシング |
| ③ CCPにおける当初証拠金の算出ロジック | ⑧ 当初証拠金と DVA、FVA との関係 |
| ④ 当初証拠金計算モデルと ISDA の SIMM | |
| ⑤ 担保のヘアーカットの計算 | |

（注） 講義内容は見直し等により変更になる場合があります。